

第5学年「音楽」学習指導案

授業者 町田 直樹

2月20日（金） 4階アセンブリ 9:00～9:40

1 題材名 音楽すること

2 題材について

4年生から継続して活動している「ミュージックマップ」の時間。この時間は、自分たちで決めた計画のもと、自分たちの音楽と向き合っている。また、友だちの音楽から、刺激を受けて、自分たちの音楽へ取り入れようとする姿もある。音楽室にある楽器は、自由に使うことができる。また、楽曲の選択も子どもに任せている。一度選択してみて、自分たちには難易度が合わない楽譜を選択してしまったことに気づき、より簡単に演奏することはできないかなど、教師に求めてくることもある。このように一度試してみる経験を大切にしたいと願っている。この題材を通して、自分の音楽をマッピングしていく経験が積み重なっていると考えている。そして、その経験の重なりが自らの音楽観の変化や、より追求していこうとする姿につながると考え、継続して実践している。

第5学年の子どもたちとの関わりは、1年生の時から継続している。特に5年生になってからの子どもたちは、小学校生活を充実させていきたいという思いがより強くなったように思える。しかし、思いと現実との差が少なくないと感じたのも事実であった。そのようなことから、じっくりと自分のペースで没頭できる学習環境を整えようと考えて現在に至る。11月に行った音楽会に向けては、本校では初となるJ-POPの合奏にチャレンジした。リコーダーパートは決して楽とは言えないメロディラインであった。少しずつ一步一步コツコツと向き合っていたという教師の願いが強かったのも事実である。練習する過程での学びあいを大切にみとり、子ども一人ひとりが少しずつ成長してきたように思える。

「ミュージックマップ」の取り組みでは、他者とのアンサンブルを楽しむ姿が多くなったと捉えている。他者の表現を批判・賞賛することから、自分の音楽とも向き合える姿が次第に多くなった。また、様々な音楽観に出会うことから、自らの音楽観を更新し続ける姿も多く見られる。一方で、自分で選択することが困難な子どももいる。しかし、教室空間に居るということで、ある意味音楽に参加していると捉えることもできるのではないかな。このような教師の思いのもと、本題材を設定している。「わたしの音楽すること」をマッピングすることから、この先のさらなる「わたしの音楽すること」へとつなげてほしい。

3 学習指導計画（3学期：10時間目／全15時間）

1時間目・・	15時間目
ミュージックマップの時間（4年生から継続して活動している）	
やりたいことを選ぶ・個人やグループで考え練習し、発表・評価交流する（サイクルする）	
クラスみんなで取り組もう	
○「テルーの歌」（ソプラノリコーダー） ○リコーダー既習曲（3年生から現在まで）	
○教科書掲載曲（歌唱活動） ○歌集から選んで歌おう	

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

- ・仲間とともに、息をあわせたり、拍を感じたりと、音楽することを楽しむ。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○自分（自分たち）の課題に取り組む ・一緒にあわせてみよう ・ここはこうしよう ・あわないな ・うまくあった ・迷う ・音をよく聴く	それぞれの課題を確認していく 適宜楽器の調整など ともに表現を楽しめるように
○発表する（聴きあう） ・すごい ・前回より良くなった ・工夫しているな	発言しやすい環境をつくる
○ミュージックマップを作ってみる	
○みんなで歌う・リコーダー演奏する	姿勢・歌詞・息づかい等